

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 生野区

学 校 名 東桃谷小学校

学校長名 田中 英治

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・小学校では、第6学年 37名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

○平均正答率において、国語では大阪市平均を6ポイント、全国平均からも4.3ポイント上回っている。領域別でみると、「書くこと」に関して、大阪市平均を12.5ポイント、全国平均を8.2ポイント上回り、「言葉の特徴や使い方に関する事項」で、大阪市平均を6.3ポイント、全国平均を8.3ポイント上回った。一方、「読むこと」に関しては、大阪市平均を3.3ポイント上回ったものの、全国平均を0.4ポイント下回っている。○算数に関しては、大阪市平均を4ポイント、全国平均からも2.8ポイント上回っている。領域別でみると、5領域中「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」の4領域で大阪市平均、全国平均を3.8ポイントから7.7ポイントと大きく上回っている。一方「変化と関係」領域のみ、大阪市平均から2.1ポイント、全国平均から2ポイント下回った。○平均無回答率は、国語と算数とも、大阪市平均、全国平均と比してかなり低くなっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」に関して、優れた結果となった。言語に関する知識・技能、思考・判断・表現とも大阪市・全国に比して優れた結果を出している。特に、目的を意識して、中心となる語や分を見つけて要約することや、目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の意図が伝わるように書き表し方を工夫すること、文の中における主語と述語との関係を捉えることはしっかりとできている。また、話す・聞く能力、読む能力に関しても、大阪市を上回る結果となっており、国語科で身につけるべき能力が着実に身につけていることが伺える。一方、話すこと・聞くことに関して、目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考慮することや資料を用いた目的を理解することに関しては、若干の課題がみられた。

〔算数〕問題別の正答率をみてみると、「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」のすべての領域のほとんどの問題で、大阪市平均、全国平均とも上回っており、算数科で身につけるべき能力が確実に身に付いていることがわかる。「変化と関係」領域の速さを求める除法の式と小の意味を理解している問題、「図形」領域の複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述する問題のみ、大阪市平均・全国平均を下回った。

国語科・算数科ともに、着実に必要な能力を身につけている結果となり、学力向上推進校としての取組の成果が表れていると言える。

質問紙調査より

○朝食の喫食・寝る時刻・起床の時刻の設問からは、基本的な生活習慣が身につけていることがわかる。○「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標をもっていますか」の問いについては、大阪市平均・全国平均を大きく上回っており、自尊感情や自己肯定感の高さが伺える。「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。」の設問にも、肯定的な回答の割合が高く、結果よりも過程を重視しながら、各個人の課題解決に向かう頑張りが認められるという機会を数多くもってきた成果が表れている。○「人が困っているときは、進んで助けていますか。」「人の役に立ちたいと思いますか。」の設問にも肯定的な回答の割合が大阪市平均・全国平均よりもかなり高い。「学校に行くのは楽しいと思いますか」「友達と協力するのは楽しいと思いますか」の設問にも肯定的な回答の割合が高いことから、人と協力しながら活動することに喜びを感じ、学校での取組に達成感を感じていることがわかる。○これまでの授業の経験を通じた設問では、「友達との間で話し合う活動では、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け笑って自分の考えをしっかりと伝えていましたか」「友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の設問で肯定的な回答の割合がかなり高く、対話的な学びが実現していることがわかる。また、国語や算数の勉強が好きかどうかの設問にも、好きだとする回答がかなり高く、学ぶ意欲の高さが伺える。学力向上推進校として、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業デザインの研究に取り組み、教科指導の改善・充実に取組んでいる成果が表れていると考える。

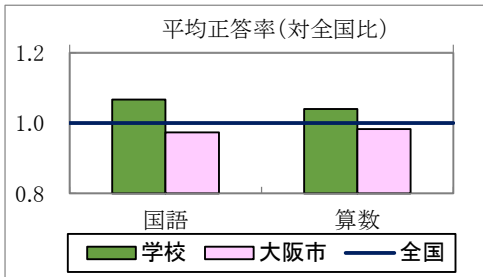
今後の取組(アクションプラン)

国語・算数に関しては、基礎的・基本的事項を一定身につけ、発展的な学習に取り組むこともできてきている。現在、重点的に取り組んでいる「主体的・対話的な深い学び」の実現に向け、校内研修を充実させるとともに、授業研究の積み重ねによる成果の積み上げを図っていく。特に児童の学ぶ意欲の向上に重点をおき、課題追究に対する意欲を継続させる授業を展開していく。めあて、ふりかえりを毎時間設定するとともに、めあてが与えられためあてではなく児童の疑問や気付きから生まれたものになるようにすることが必要である。そのための実践を校内をあげて推進していく。また、現在実施している研究の通り、「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習展開を、全教科・領域にわたり実施していく。また、教科横断的な学びを積極的に設定し、思考力・判断力・表現力の育成を図っていく。その中で、自ら課題を見出し、解決していく主体的な課題解決学習の過程を通して学び方を身につけるようにしていく。さらに、資料活用能力を向上するため、さらに図書館の活用と児童の読書量を増やす取り組みを継続する。

【 全体の概要 】

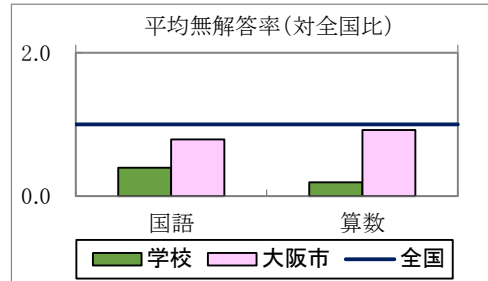
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	69.0	73.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



平均無解答率（％）

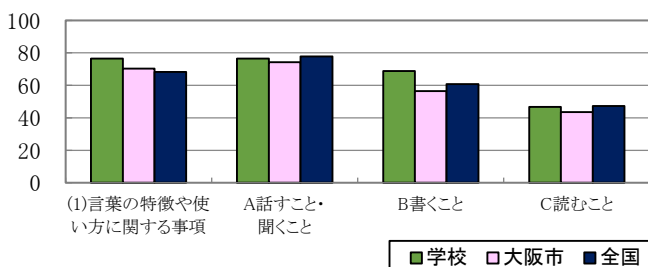
	国語	算数
学校	1.7	0.5
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



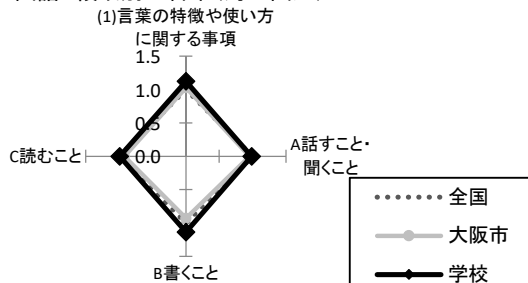
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	6	76.6	70.3	68.3
(2)情報の扱い方 に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	76.6	74.3	77.8
B 書くこと	2	68.9	56.4	60.7
C 読むこと	3	46.8	43.5	47.2

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



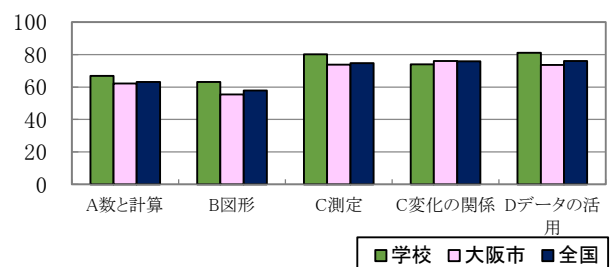
国語 領域別正答率(対全国比)



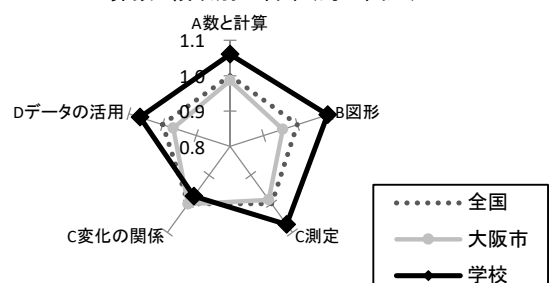
【 算 数 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	66.9	62.2	63.1
B 図形	3	63.1	55.4	57.9
C 測定	3	80.2	73.8	74.8
C 変化と関係	3	73.9	76.0	75.9
D データの活用	5	81.1	73.6	76.0

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

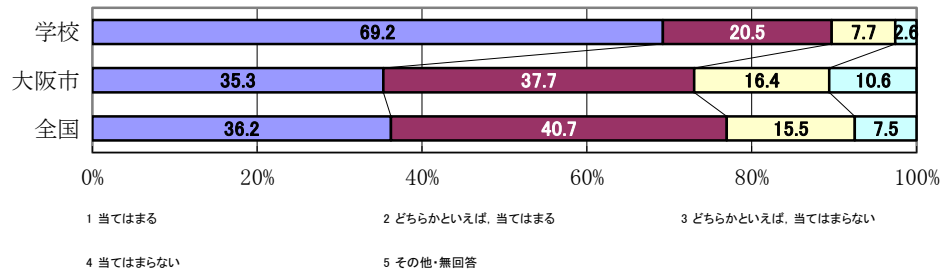
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

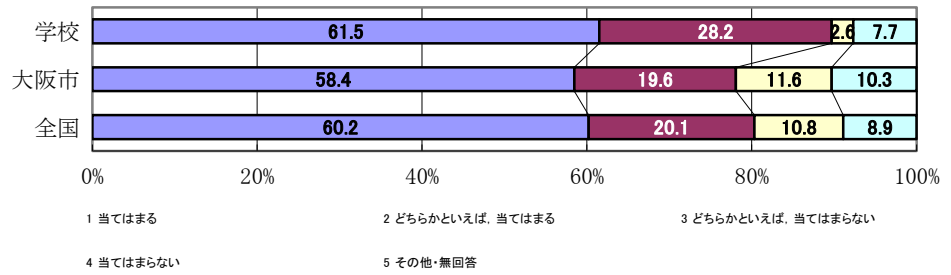
6

自分には、よいところがある
と思いますか



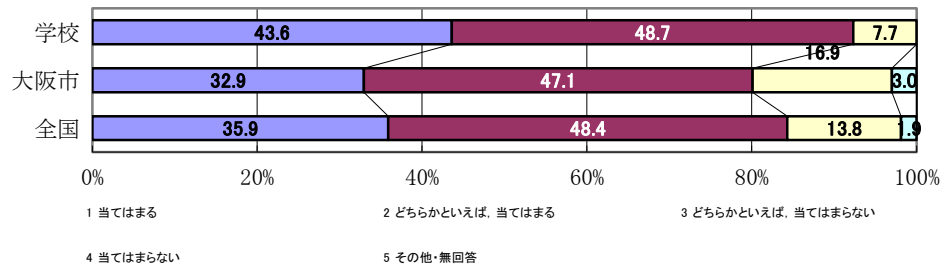
7

将来の夢や目標を持っ
ていますか



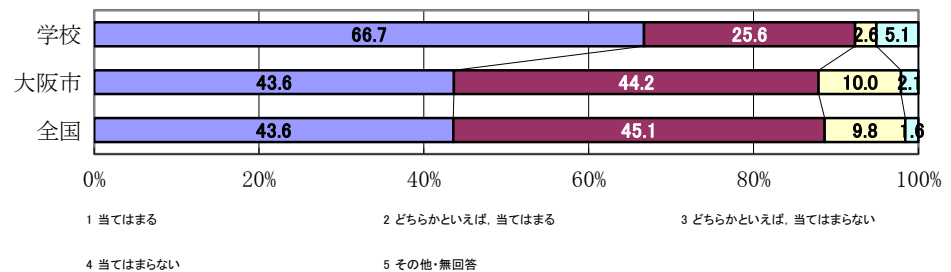
8

自分でやると決めたことは、
やり遂げるようにしてい
ますか



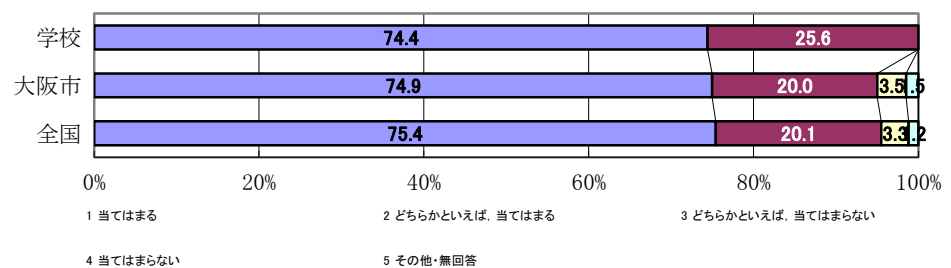
10

人が困っているときは、進
んで助けていますか



12

人の役に立つ人間になりた
いと思いますか



児童質問紙より

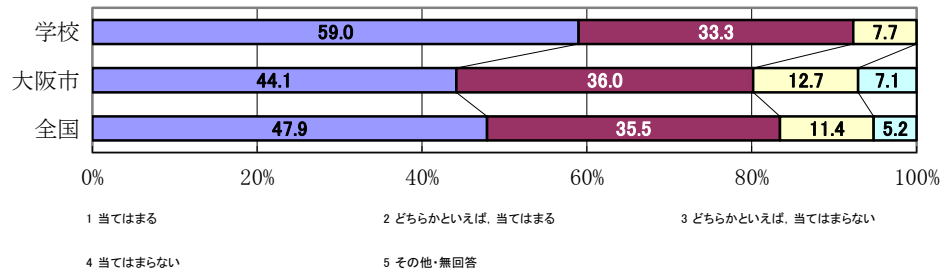
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

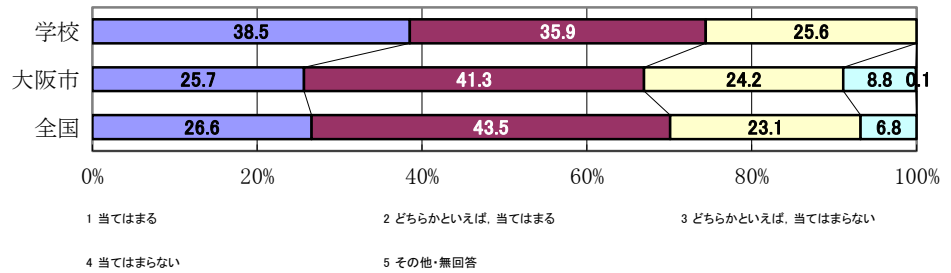
13

学校に行くのは楽しいと思
いますか



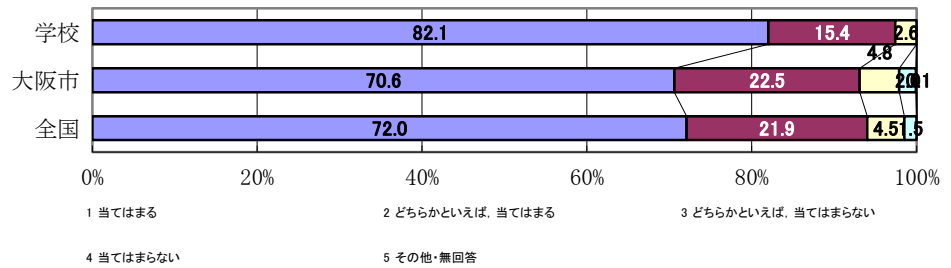
15

自分と違う意見について考
えるのは楽しいと思いま
すか



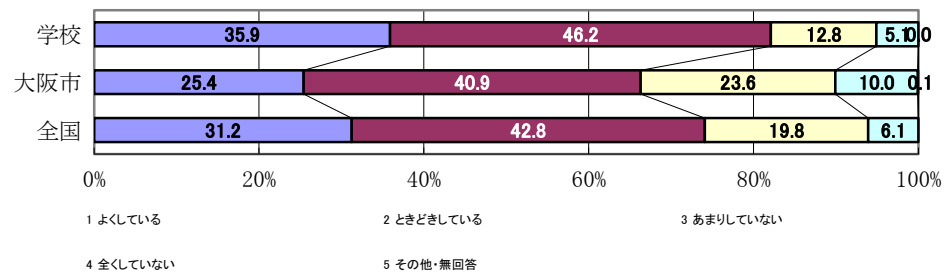
16

友達と協力するのは楽しい
と思いませんか



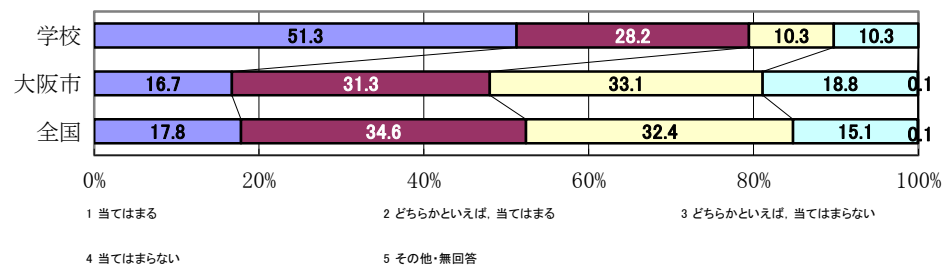
17

家で、自分で計画を立てて
勉強をしていますか(学校
の授業の予習や復習を含
む)



25

地域や社会をよくするため
に何をすべきかを考えるこ
とがありますか



児童質問紙より

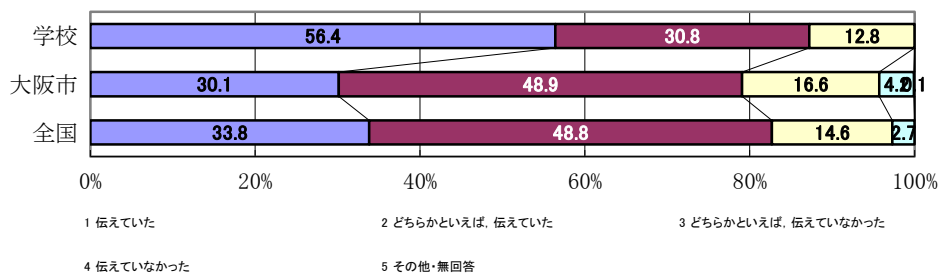
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

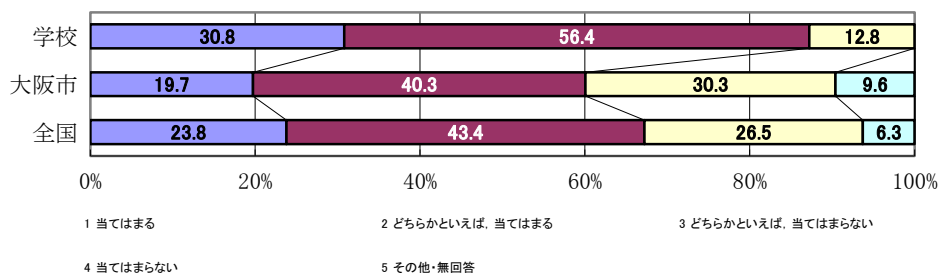
31

5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか



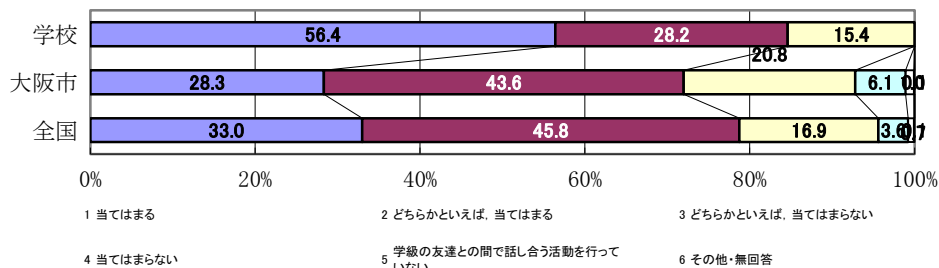
34

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか



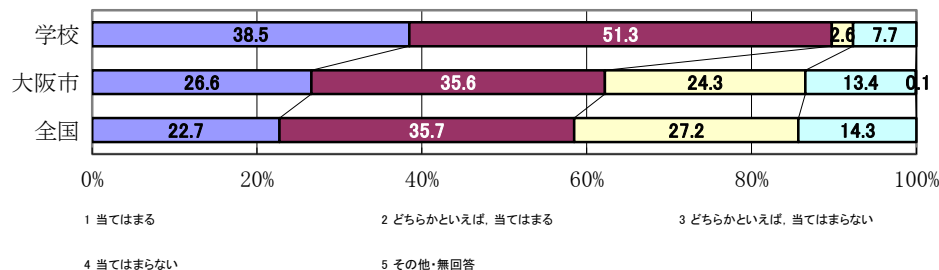
37

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



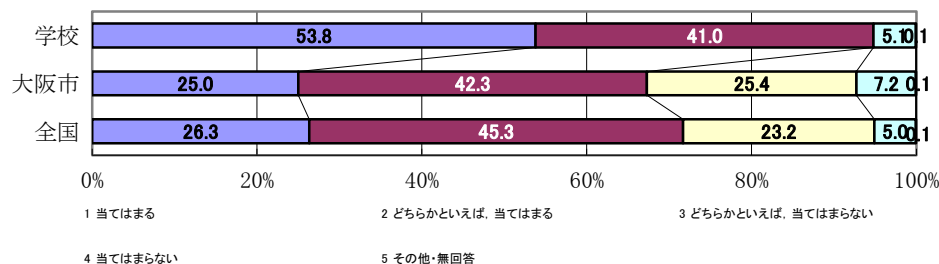
43

国語の勉強は好きですか



49

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか



児童質問紙より

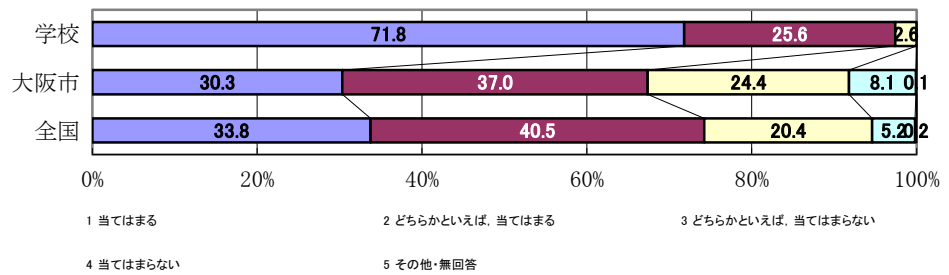
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

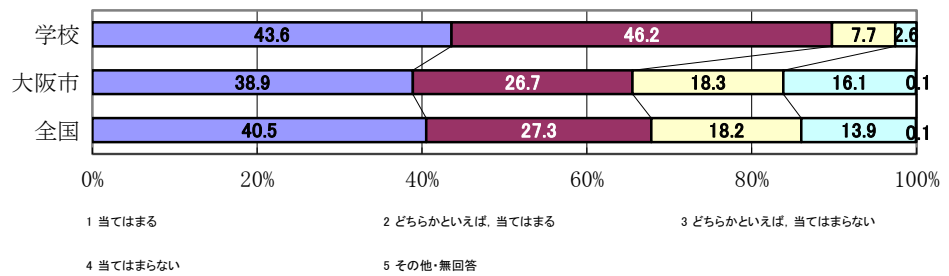
50

国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか



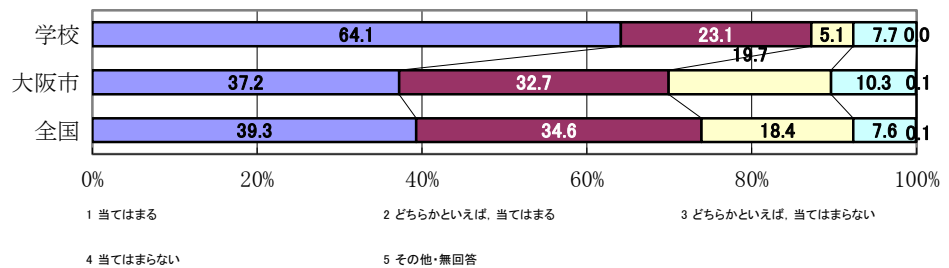
52

算数の勉強は好きですか



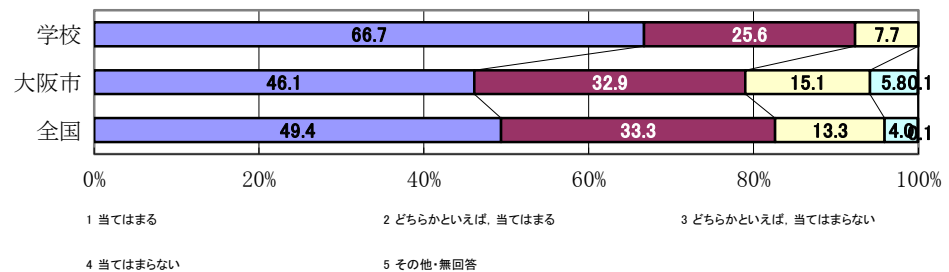
56

算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



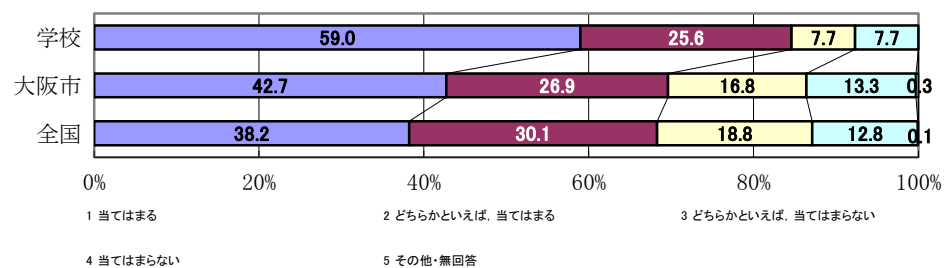
57

算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。



61

英語の勉強は好きですか



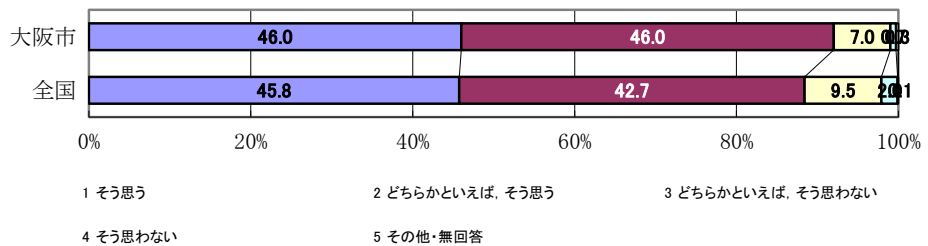
学校質問紙より

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

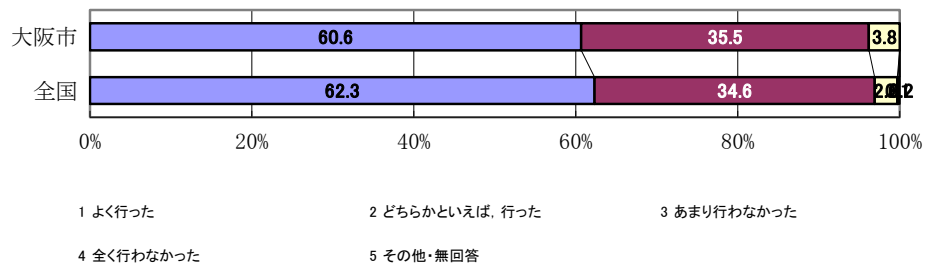
学校 「そう思う」を選択



10

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど)を維持しましたか

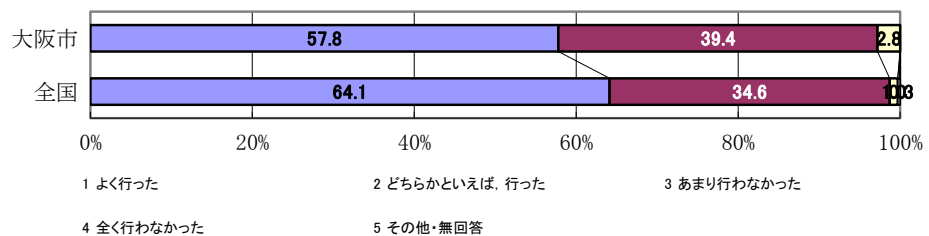
学校 「よく行った」を選択



11

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか

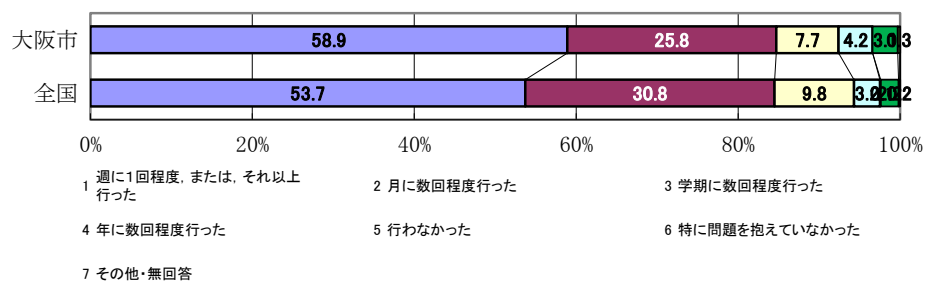
学校 「よく行った」を選択



14

教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

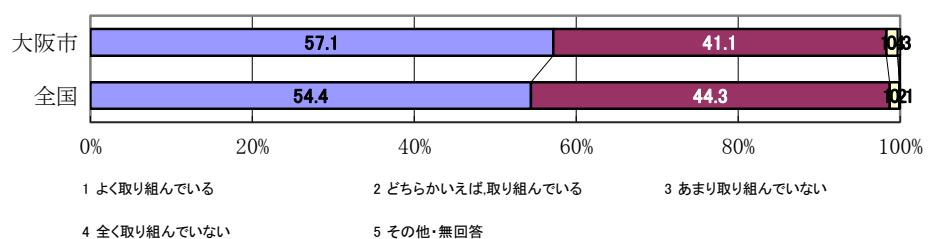
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



17

学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか

学校 「よく取り組んでいる」を選択



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

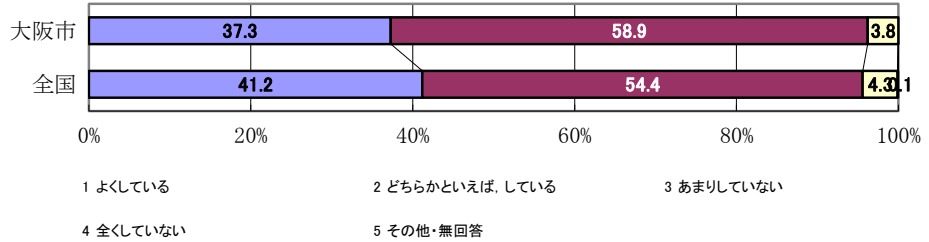
質問番号

質問事項

21

言語活動について、国語科だけではなく、各教科、特別の教科道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか

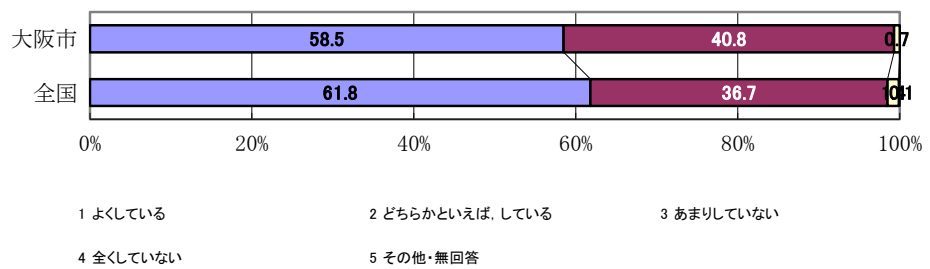
学校「よくしている」を選択



22

校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか

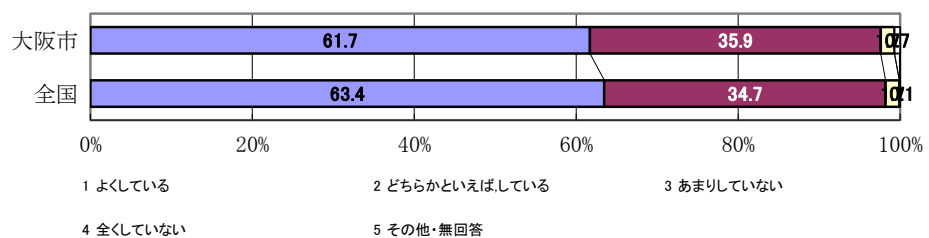
学校「よくしている」を選択



23

授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

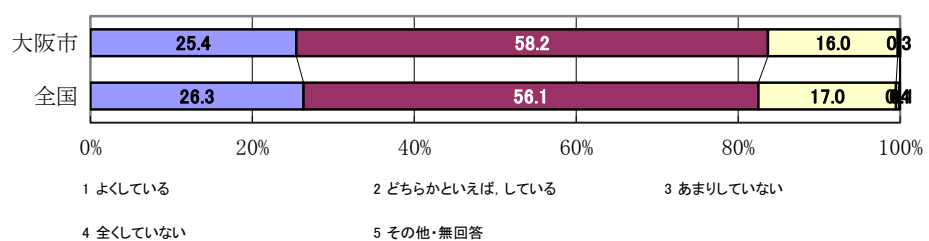
学校「よくしている」を選択



24

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

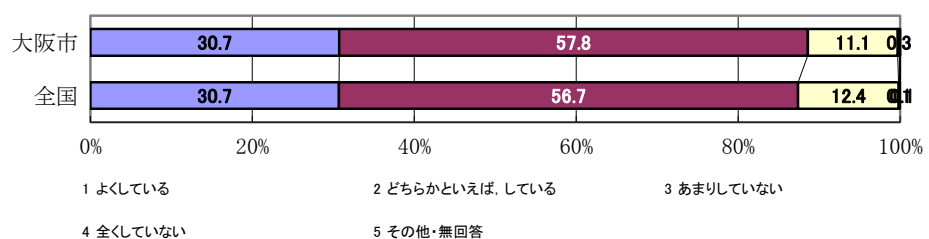
学校「よくしている」を選択



28

学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか

学校「よくしている」を選択



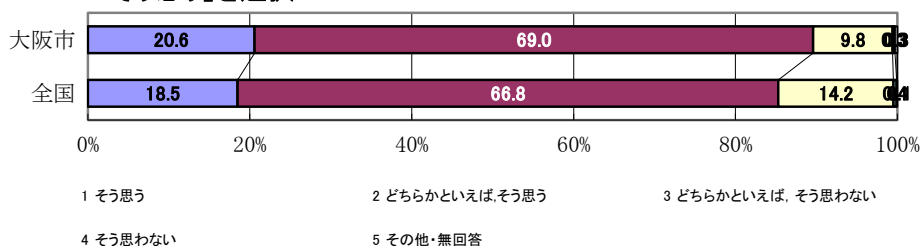
学校質問紙より

質問番号
質問事項

29

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか

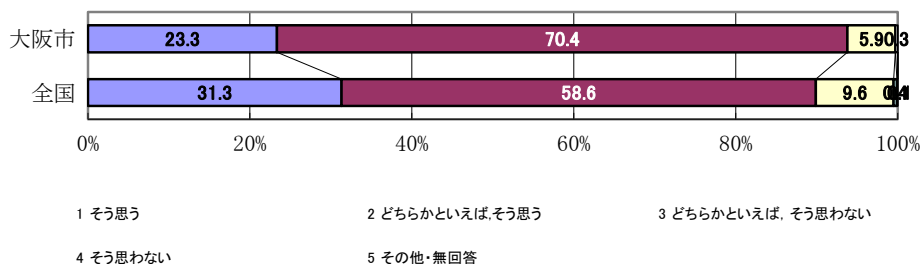
学校 「そう思う」を選択



33

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができますか

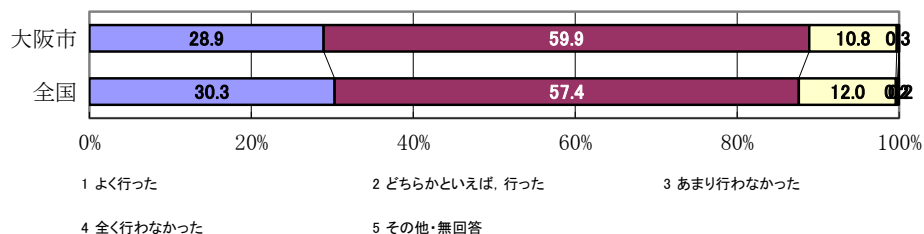
学校 「そう思う」を選択



34

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

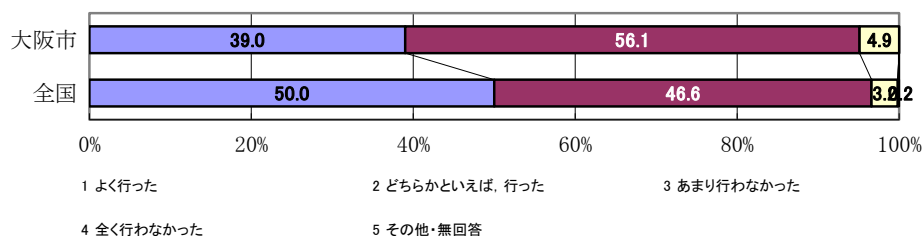
学校 「よく行った」を選択



35

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか

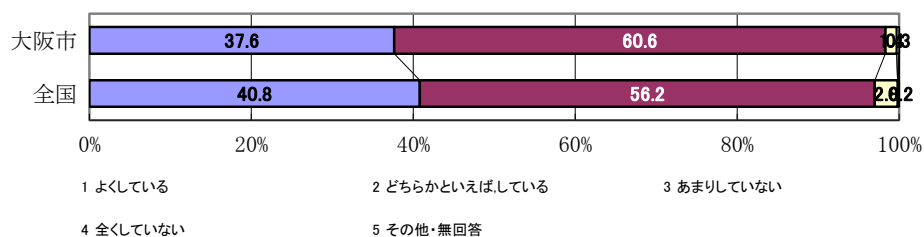
学校 「よく行った」を選択



44

調査対象である児童に対して、特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

学校 「よくしている」を選択



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

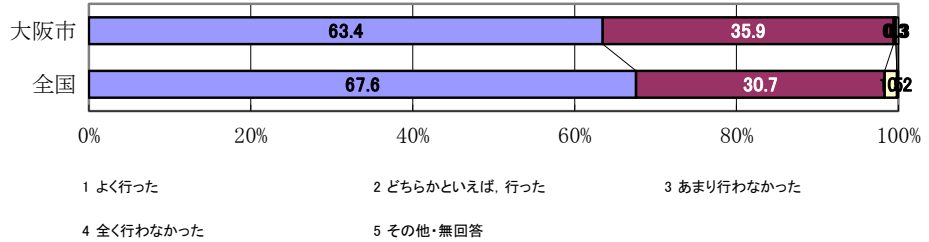
質問番号

質問事項

48

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか

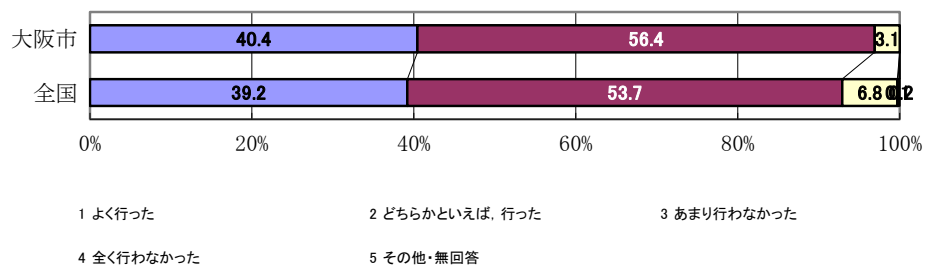
学校「よく行った」を選択



60

調査対象学年の児童に対する算数の指導として、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートに書く指導を行いましたか

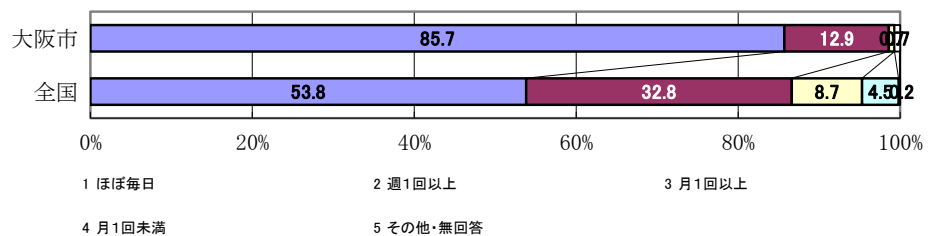
学校「よく行った」を選択



66

前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか

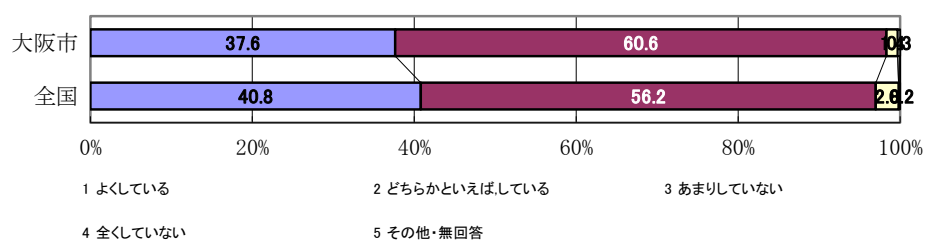
学校「ほぼ毎日」を選択



44

調査対象である児童に対して、特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

学校「よくしている」を選択



48

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか

学校「よく行った」を選択

